

米國、支那等ニ於ケル朝鮮獨立運動ノ現況及是等ノ朝鮮人ニ對スル働き掛ケノ狀況如何

朝鮮外不逞朝鮮人ノ主勢力ハ在支並ニ在米大韓民國臨時政府ヲ主體トスル諸團體ヲ主流トス。

(1) 在支不逞朝鮮人團體ハ金九ヲ首魁トスル民族主義派ト金元鳳ヲ首魁トスル共產主義派ノ二大陣營ニ分立シ、過去二十數年來對立抗争ヲ續ケ、群小團體ハ之ヲ中心ニ集合集散ヲ繰返シ來リシモ、支那事變ノ勃發ト共ニ從來ノ鬭爭ヲ清算シ、運動戰線ヲ統一シ、大同團結ノ氣運ヲ傾キタリシガ遂ニ實現ヲ見ズシヲ今日ニ至レリ。

既往ニ於ケル兩派勢力ノ消長ハ國共相剋ト運命ヲ俾ニシ來リシガ、近年金九派ハ次第ニ内外ノ聲望ヲ集メ、重慶ヲ中心ニ隱然タル勢力ヲ扶進スルニ至リシニ及ビ、金元鳳派ハ其ノ領導下ニアリタル朝鮮義勇隊員中有力分子ノ北支移動等ニ因リ勢力凋落ノ色アリ。

大東亞戰爭勃發スルニ重慶政府ノ在支朝鮮人團體操縱策積極化シ、其ノ總樞ニ依リ昭和十七年秋頃金九金元鳳兩派ノ意見合致シ、金元鳳派ハ既往ニ於テ名実俱ニ在支不逞團體中最モ活潑ナル鬭爭活動ノ沿革ヲ有スル朝鮮義勇隊ヲ改編シ、等々ヲ金元鳳ノ韓國光復軍ニ合流シ、總司令ニ李青天、副司令ニ金元鳳ノ就任ヲ見タリ。

亞テ金元鳳派ハ從來朝鮮民族革命黨、朝鮮民族解放鬭爭同盟外ニケ團體ニ分立シアリタル共產系團體ヲ統合解消シ、新ニ朝鮮民族革命黨ヲ構成シ、同時ニ臨時政府支援ノ態ヲ明ニシタリ。

金九派ハ韓國獨立黨ハ所謂一回一黨ヲ標榜シ、昭和十五年春韓國光復團體聯合會ヲ解体シ、新ニ臨時政府外席團體トシテ

組織セラレタルガ、金九直系分子ヲ以テ構成シ、朝鮮民族革命黨トハ依然對立的立場ニテリ。
韓國光復軍ハ其ノ性格臨時政府ノ直系軍タルモノニシテ昭和十五年八月成立、當時軍事費一千二百五十萬元ヲ計上シ將校五百名兵士五千名養成ヲ目標トシ、宣傳シ、只實重慶ヲ初メ米英蘇側ノ臨時政府承認ヲ得ムトスル政治的意圖ニ出デソアリ。
(2) 重慶政権下所存ノ不逞朝鮮人團體ノ狀況前述ノ通りナルガ、近時中支及北支ニ於ケル中國共產黨勢力下ニ所存ナル朝鮮人不逞團體ハ活動積極化シ、鮮内治案ニ直接影響ヲ及ボゾムトシツツアルハ最モ注目ヲ要スルトコロナリ。
北支朝鮮人不逞者ノ領導團體ハ華北朝鮮獨立同盟及朝鮮義勇軍華北支隊トス。

朝鮮義勇軍華北支隊ハ重慶傘下ニテアリテ金九鳳ノ領導下ニ活動シ来レル朝鮮義勇隊ハ極左分子ハ國共軋轢ニ依ル重慶側ノ共產分子ニ對スル壓迫ヨリ遁レ、金九鳳ハ配下ヨリ離脱シ、大華北上シ在延安中國共產黨傘下ノ朝鮮人黨員ト合流シ、朝鮮義勇隊華北支隊ト稱シ、全ク重慶傘下ノ本部指揮下ヨリ離レテ活動ヲ開始シ、最近隊ヲ單ト改メ次第ニ勢力ヲ増強スルニ至レリ。

北支方面ニ於テハ從來中國共產黨第十八集團軍（八路軍）ノ四二多數ノ不逞朝鮮人分子ナリ。
此ノ中武亭一派ハ朝鮮義勇隊左翼分子崔昌益一派ガ結託シテ中共指導下ニ在支朝鮮人共產主義團體ヲ基幹組織トシテ華北朝鮮青年聯合會ヲ組織シテリガ、昭和十七年八月四日朝鮮義勇隊華北上分子ヲ加ヘ發展的解消ヲナシ、華北朝鮮獨立同盟

ト改称シ、北支ニ於ケル事実上ノ領有団体ヲ形成シ、朝鮮義勇軍、北支隊ハ之ガ別働隊タルノ關係ニ置カラルニ至リ。全同盟ハ朝鮮革命青年幹部学校ヲ設立シ、同志ノ養成ニ當リ、アリシガ、本年一月、北支隊獨立軍政学校ト改称シ、朝鮮人男女數十名ヲ收容シアルガ如シ。

本同盟及義勇軍ハ山西、山東、河北ノ各地ニ分盟及支隊ヲ組織シ、在敵日本人反戦団体タル在華日本人民解放聯盟ト呼称シ、中國共產黨ノ領導下ニ抗日民族工作ニ暗躍シツ、アルガ、本年一月、津浦線以東臨海線以南ノ地区、漢澤湖附近某処ニ於テ華中分盟及華中支隊ヲ結成スル等次第ニ組織ノ拡大強化ヲ図リツツアリ。更ニ中共ノ冀東及滿洲國熱河地区ヘノ進入ニ伴ヒ、各方面ニモ有カナル組織ヲ結成セルマノ情報モアリ。斯クノ如ク在支不逞朝鮮人ハ民族系分子ハ蔣系黨軍ト結ビ、

二共産系分子ハ中共黨軍ト結ビ、共ニ大東亞戦争ヲ朝鮮獨立完成ノ好機トナシ、敵側抗戦ニ迎合シ虎視眈々我ガ方ノ國際ノ競上活動益々積極化シツツアルヲ以テ、須臾ノ油断モ許サザルモノアリ。

加之近時鮮門居住主義者ニシテ之等在支不逞朝鮮人ト緊密シ不羈ヲ圖策シツソアルノ事例モアリ、左條取締ヲ嚴密シツツアルドコロトス。斯クノ如ク朝鮮獨立同盟並ニ朝鮮義勇軍ノ活動ハ日本人民解放聯盟ト相呼應シ、中共ノ所謂抗日抗戦ノ一環トシテ漸次國際性ヲ濃化シ、日鮮支ノ共同戦線ヲ展開シ相乗積極化スルニ至リ、其ノ工作目標ヲ專ラ我カ和平地區居住朝鮮人ニ對スル思想謀略ニ指向シツツアリ。特ニ在支皇軍部隊ニ入隊中ノ朝鮮人学徒志願兵ニ對スル誘引工作ヲ積極化シ、之カ為ニ脱走投敵セル朝鮮人志願兵ハ數十

名ヲ鼻シ、中ニハ歴然不逞團體ニ投ジ仍勳ヲ共ニセルノ事例
モアリ。本年以、降朝鮮人徴兵ニ依ルハ隊者激増ヲ見ルニ伴
ヒ斯種敵側思想謀略ノ積極化ハ充分警戒ノ要アリ。
布哇及米本土駐在ノ朝鮮人不逞團體ハ韓國併合當時所謂上海
假政府ノ樹立ニ呼應シ、專ラ資金團體トシテ活動シ来レルモ
大東亞戰以來米國政府ノ積極的利用ノ果ニ供セラレ、其ノ支
援ニヨリ李承晩ヲ臨時大統領ニ推シ華府日本大使館内ニ大韓民
國臨時政府ヲ設置セルモノノ如ク、最近ハ專ラ短波無線ニ依
ル朝鮮謀略放送ニ依リ只管朝鮮獨立待望ヲ呼籲シ、韓内民衆
ニ呼聲ヲ宣傳ニ躍起トナリソツアリテ解内ニ於テモ一部不法
施設ニ依ル之ガ密聴流布者ヲ檢挙セル事例モアリ、之ガ影響
ニ對シテハ相當注意取締中ナリ。

米 國 ——— 大韓民國臨時政府

支 那

北支所在

華北朝鮮獨立同盟

朝鮮義勇軍華北支隊
朝鮮義勇隊ヨリ分タルモノ

重慶政權下
所在臨時政府

民族主義派 (金九)
共產主義派 (金元鳳)

韓國獨立黨
韓國光復軍
朝鮮民族革命黨
朝鮮義勇隊
韓國光復軍ニ合流

(四) 台湾

台湾ニ衆議院議員選挙法施行ニ関スル運動ハ亦七十ヶ議會（昭和十一年）ニ初メテ請願トシテ衆議院議員坂東幸太郎ヨリ提出アリタルモ單ニ委員會ヨリ政府ニ對シテ所屬送付アリタルノミナリ。

請願ノ趣旨ハ帝國ノ南方政策ガ最も重要ナル國策ノ一ト爲レルル今日ニ於テハ台湾ハ國防上經濟上南方進出ノ基地ト爲リタルヲ以テ此ノ秋ニ當リ島民ノ民意ヲ暢達セシメ内外時局ノ重要性ヲ知悉セシムルハ國家大旨トシテ臺灣統治上喫緊ノ要務ナルニ依リ台湾ニ衆議院議員選挙法ヲ施行セラレ度シト謂クニ在リ。

右請願ニ對シ政府ハ台湾ニ於ケル女学校教育等ノ狀況ハ内地ニ比シ相當ニ進歩アル等ノ実情ニ鑑ミテ之ヲ施行スルノ素地ニ以テガル所多キヲ以テ議會ニ對シ本請願ハ之ヲ採択セザルニ極希望セリ。

(三) 台湾議會設置ニ関スル運動

台湾議會設置ニ関スル運動ハ亦四十回議會（大正十一年）ヨリ亦六十回議會（昭和九年）迄ニ請願トシテ十五回ニ亘リ貴衆兩院ニ提出セラレタルガ議會ニ於テ採択セラレタルコトナシ。（經過表参照）

請願ノ趣旨ハ概ネ台湾住民ヨリ公選セラレタル議員ヲ以テ組織スル台湾議會ヲ設置シ之ニ台湾ニ於ケル予算及大正十一年法律中ニ於（台湾ニ施行スベキ法令ニ關スル法律）ニ依リ台湾總督ニ委任セラレタルガ如キ台湾特殊ノ事情ニ基テ法規ノ議決權ヲ賦予セラレ度シト謂クニ在リ。

右請願ニ對シ政府ハ本件ノ如キハ憲法ニ抵触スルノ虞アルノミナラズ台湾統治上適當ナラスト認ムルヲ以テ議會ニ對シ之ヲ採択セザルニ極希望シ来レリ。

台灣議會設置請願經過表

請願 提出 回数	請願 提出 年月日	議會 回數	請願 提出 議員	請願 連署 人數	委員 上程 月日	摘 要
第一回	大正三年 三月十日	第四回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 百七十七名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明
第二回	大正三年 三月十日	第五回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 五百一十二名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明
第三回	大正三年 三月十日	第六回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 三百七十八名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明
第四回	大正三年 三月十日	第七回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 七十一名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明

第一回	大正三年 三月十日	第五回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 二百五十九名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明
第二回	大正三年 三月十日	第六回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 二百五十九名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明
第三回	大正三年 三月十日	第七回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 二百五十九名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明
第四回	大正三年 三月十日	第八回	貴族院 江原素六 衆議院 田中吉太郎	林獻堂以下 二百五十九名	貴族院 三月十日	貴族院回議後說明

第四回 昭和四年 二月十六日 貴族院 衆議院	第五回 昭和五年 三月十四日 貴族院 衆議院	第六回 昭和六年 三月十四日 貴族院 衆議院	第七回 昭和七年 三月十四日 貴族院 衆議院	第八回 昭和八年 三月十四日 貴族院 衆議院
第五十八議會	第五十九議會	第六十議會	第六十一議會	第六十二議會
貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫
林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名
貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日
貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択

第五回 昭和五年 三月十四日 貴族院 衆議院	第六回 昭和六年 三月十四日 貴族院 衆議院	第七回 昭和七年 三月十四日 貴族院 衆議院	第八回 昭和八年 三月十四日 貴族院 衆議院
第五十九議會	第六十議會	第六十一議會	第六十二議會
貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫	貴族院 渡辺 暢 衆議院 神田 正雄 土井 恒夫
林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名	林 敬堂以下 九十九名
貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日	貴族院 三月十四日 衆議院 三月十四日
貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択	貴族院 不採択 衆議院 採択 議決 採択

朝鮮人、本島人ニシテ貴族院議員ニ勅選セラレタル者ニ關スル調査
至昭和一九一九

一、朝鮮人

氏名	爵位	職業	在職年數	備考
朴泳孝	正三位 勳三等	朝鮮總督府中樞院副議長	自昭和七・一・二至 四・九・二	薨去
尹德榮	正四位 勳三等	朝鮮總督府中樞院顧問 (後副議長)	自昭和四・三・一 至五・一・一	薨去
李家軫鎬	正四位 勳三等	朝鮮總督府中樞院副議長	自昭和八・一・一 現在議員タリ	

二、臺灣人

氏名	爵位	職業	在職年數	備考
辜顯榮	勳三等	臺灣總督府評議會會員	自昭和九・七・三 至一三・一・九	薨去

註 爵位、職業、勅選當時ノ現在ニ據ル。

朝鮮台灣ニ施行セラルル法律件数調 昭和一九二八年現在

區 分		朝鮮 台灣		計
一 全部施行法律		七五	一六七	二四二
一 一部施行法律		二三	五三	七六
一 當然適用法律		三八	四一	七九
一 朝鮮又ハ台灣ノミニ適用セラルル法律		一七	一一	二八
計		一五七	二七二	四二九

昭和十六年勅令第一〇一號ノ趣旨
昭和十六年台灣ニ於テハ内地ノ例ニ倣ヒテ台灣住宅營團ヲ設立スベク律令
（以下台灣住宅營團令ト稱ス）ヲ制定セントシタル処國ラズモ法律ト律令
トノ抵觸關係ニ付一ノ問題ヲ生ジタリ。
由來臺灣ニ施行スベキ法令ニ關スル法律（大正十年法律第三号）第五條ノ
規定ニ依リテ律令ハ台灣ニ行ハレル法律及勅令ニ違反スルコトヲ得ザルモノ
トセラル。而シテ臺灣住宅營團令ニ於テハ營團ヲ法人ト爲サントシタルモ
右ハ臺灣ニ施行セラレ居ル民法ノ「法人ハ民法其ノ他ノ法律ノ規定ニ依ル
ニ非ザレバ成立スルコトヲ得ザル」旨ノ規定ニ違反ス。又臺灣住宅營團令
ハ營團ノ發行スル債券所有者ノ先取特權ニ付テ民法ト、營團ノ設立登記ニ
付テ非訟事件手續法ト又々異リタル規定ヲ設クルコトヲ必要トシタリ。
之等ノ抵觸關係ヲ解決センカ爲ニ種々考究ノ結果、昭和十六年勅令第一〇
一號ノ制定ヲ見タリ。
右勅令ハ大正十年法律第三号第一條第二項「法律ノ全部又ハ一部ヲ台灣ニ

施行スル場合ニ於テ官廳スハ公署ノ職權、法律上ノ期間其ノ他ノ事項ニ關
シ台灣特殊ノ事情ニ因リ特例ヲ設クル必要アルモノニ付テハ勅令ヲ以テ
別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得ル」旨ノ規定ニ基キテ制定セラレタルモノニシテ
「台灣住宅營團ノ成立及登記並ニ台灣住宅營團ノ發行スル債券ニ關シテハ
大正十年法律第三号第一條ノ規定ニ依リ台灣總督ノ發スル命令（註律令）
ヲ以テ民法及非訟事件手續法ニ對シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」ト定メタリ。
其ノ後時局ハ要請ニ應ジ台灣食糧營團、台灣重要物資營團其ノ他ノ特殊法
人ハ相續キテ設立セラレ、ニ伴ヒテ之ト同様ノ必要ヲ生ジ同勅令ハ屢次改
正セラレ之等ニ關スル規定ノ追加ヲ見タリ。
右ノ措置ハ大正十年法律第三号第五條ノ趣旨ニ違背スルモノニ非ズヤノ同
題ヲ考察スルニ大正十年法律第三号第一條第二項ノ所謂特例勅令ハ本來法
律ヲ台灣ニ施行スル際ニ其ノ特例ヲ規定スベキモノナルモ、昭和十六年勅
令第一〇一號ハ右ト異リ律令ヲ制定スルニ付テ台灣ニ施行セラレ、法律
ト抵觸スル部分ニ特例ヲ認メタルモノ、即チ



法律施行ノ爲ノ特例ニ非ズシテ律令制定ノ爲ノ特例ナルヲ以テ其ノ真大正
十年法律第三号第一條第三項ノ立法精神解釋上問題ノ有スル所ナリ。
又右特例勅令ハ特定事項ニ限定サレタルモノトハイヘ律令ニ對シテ法律ニ
優ル効力ヲ認メタルモノナルヲ以テ實質的ニハ大正十年法律第三号第五條
ノ立法精神ニ對スル根本的十條修正ヲ意味スルモノナリトノ説モアリ。
然レドモ、少クトモ形式ヨリ之ヲ論ズルトモハ右ノ措置ハ大正十年法律第
三号第一條第二項ノ規定ニ基ク委任命令タル昭和十六年勅令第一〇一
ニ依ルモノナルヲ以テ法律ナリト云フヲ得ベク必要已ムヲ得サル抵觸關係
ノ解決策トシテ容認セラルベキモノナルベシ。

年	別	件公	内	改	正	廢	止	備	考
自明治三十四年	至大正三年	九	一						
自大正四年	至昭和十三年	一	二	五					
自昭和十四年	至昭和十九年	一	四	五					
自昭和二十年	至昭和二十九年	三	一	三					
合計		六	七	四					

制令件数調ノ一

合	計	内				計	昭和十一年以降公布法令内容別件数
		(一) 既存法令ヲ廢止シタルモノ	(二) 既存法令ヲ改定シタルモノ	(三) 新ニ制定シタルモノ	(四) 法律ニ準ジテ制定シタルモノ		
一四		八	六	二	三		昭和十一年
一七		一	一		一		昭和十一年
二八		六	一	二	五		昭和十一年
三二		二	四	八	七		昭和十一年
二六		一	七	九	三		昭和十一年
四七		一	一	一	七		昭和十一年
三五		二	七	六	三		昭和十一年
三四		一	七	一	六		昭和十一年
五七		三	八	一	八		昭和十一年
三六		二	一		五		昭和十一年
三一		一	九	一	四		計
三一	三						

年 別	自明治三十九年 至明治三十七年	自明治三十八年 至明治三十九年	自明治三十九年 至明治四十一年	自明治四十二年 至明治四十四年	自明治四十五年 至明治四十七年	計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数
制定	一五八	二九	六二	一九	七八	五二六
改正	一	一	一	一	一	五
廢止	三六	二	五	一二	一九	七〇
備考						

律令件数調ノ一

律令件数調ノ二（昭和十一年以降公布律令ノ内容別件数）									
部	内容		年		度		年		計
	（一）新ニ制定シタルモノ	（二）法律ニ準ジテ内容モノ	（三）依用	（四）然ラザルモノ	（五）法律ニ規定セザル事項ニ関スルモノ	（六）内容ヲ相當異ニスルモノ	（七）既存律令ニ改正シタルモノ	（八）既存律令ニ廢止シタルモノ	
七				三			四		
一五				一			二		
二四				九			九		
一〇				五			五		
六							三		
一三				二			二		
二二				二			八		
一五				四			九		
二六				六			一七		
三三				四			三		
一五〇				三六			九		
三				一			二		
五六				三七			二		
計				一			二		

現行制令件名調
第一 憲法
昭一九二一現在

- 一 明治四十四年制令第十一號（制令ニ於テ法律ニ依ルノ規定アル場合ニ於テ其ノ法律ノ改正アリタルトキノ効力ニ關スル件）
- 二 明治四十三年制令第一號（朝鮮ニ於ケル法令ノ効力ニ關スル件）
- 三 明治四十三年制令第八號（明治四十三年制令第一號ニ依ル命令ノ區分ニ關スル件）

第二 官規

- 一 明治四十三年制令第六號（朝鮮總督府判事及檢事ノ任用ニ關スル件）
- 二 大正九年制令第十一號（朝鮮總督府判事ノ特別任用ニ關スル件）
- 三 明治四十三年制令第七號（朝鮮人タル朝鮮總督府裁判所職員ノ任用ニ關スル件）
- 四 朝鮮總督府判事懲戒令（明治四十四制令五）

第三 社寺

- 一 寺社令（明治四十四制令七）

第四 地方制度

- 一 道制（昭和五、制令一五）
- 二 府制（昭和五、制令一六）
- 三 邑面制（昭和五、制令一二）
- 四 學校組合令（大正二、制令八）
- 五 昭和十四年制令第一號（支那事變ニ際シ召集中ノ若議員等ヘノ復職ニ關スル件）
- 六 昭和十八年度制令第五十二號（府會議員、邑會議員及面協議會員ノ任期延長ニ關スル件）

第五 警察衛生

- 一 明治四十五年勅令二十六號（司法警察官職務令執行ニ関スル件）
- 二 朝鮮臨時保安令（昭和十六、勅令三四）
- 三 朝鮮恩賜勲章保護勅令（昭和一二、勅令一六）
- 四 行政執行令（大正三、勅令二三）
- 五 朝鮮映画令（昭和一五、勅令一一）
- 六 明治四十五年勅令第二十三號（遺失物其ノ他ノ物件ニ關スル件）
- 七 明治四十五年勅令第二號（古物商取締ニ關スル件）
- 八 明治四十五年勅令第三號（質屋ノ取締ニ關スル件）
- 九 銃砲火藥取締令（大正六、勅令三）
- 一〇 大正七年勅令第一號（紙幣類似証券取締ニ關スル件）
- 一一 朝鮮新稅證紙等取締令（昭和一九、勅令一一）
- 一二 朝鮮不稔文書臨時取締令（昭和一二、勅令一三）
- 一三 朝鮮警察令（昭和一九、勅令三一）

- 一四 藥品及藥品醫藥取締令（明治四五、勅令二二）
- 一五 朝鮮戒煙取締令（昭和一二、勅令六）
- 一六 朝鮮阿片取締令（大正八、勅令一五）
- 一七 傳染病預防令（大正四、勅令二）
- 一八 明治四十四年勅令第一號（梅毒検査ニ關スル件）
- 一九 朝鮮癩癧預防令（昭和一二、勅令四）
- 二〇 朝鮮痘症令（大正一二、勅令九）
- 二一 朝鮮赤痢傳染病預防令（昭和五、勅令六）
- 二二 朝鮮牛結核預防令（昭和一二、勅令九）
- 二三 朝鮮汚物掃除令（昭和一二、勅令八）

第六 社會

- 一 朝鮮救護令（昭和一九、勅令一二）

- 二 朝鮮醫史院勸業令(昭和二三、制令二八)
- 三 朝鮮永隆救護令(大正三、制令一二)
- 四 朝鮮簡易生命保險令(昭和四、制令五)
- 五 朝鮮郵便年金令(昭和一一、制令三三)
- 六 朝鮮小作調停令(昭和七、制令五)
- 七 朝鮮職業紹介令(昭和一二、制令二)
- 八 朝鮮住宅整理令(昭和一二、制令二二)
- 九 朝鮮貸家組合令(昭和一二、制令一〇)
- 一〇 朝鮮借地借家調停令(昭和一二、制令四六)
- 一一 朝鮮人事調停令(昭和一二、制令八)
- 一二 朝鮮慰化令(大正一二、制令一二)
- 一三 朝鮮司法保護事業令(昭和一二、制令九)

第七 土地

- 一 土地收用令(明治四四、制令三)
- 二 朝鮮農地開墾營團令(昭和一二、制令三四)
- 三 朝鮮土地改良令(昭和一二、制令一六)
- 四 朝鮮公有水面埋立令(大正一二、制令四)
- 五 土地調査令(大正六、制令二)
- 六 朝鮮土地測量令(昭和一二、制令一)
- 七 森林令(明治四四、制令一〇)
- 八 朝鮮林野調査令(大正七、制令五)
- 九 朝鮮林業開發株式會社令(昭和一二、制令)
- 一〇 朝鮮特別森林保護令(大正一二、制令七)
- 一一 朝鮮水利組合令(大正六、制令二)
- 一二 朝鮮河川令(昭和一二、制令二)

- 一 朝鮮防務費令（昭和八、昭令一七）
- 二 朝鮮市街地計画令（昭和九、昭令一八）

第八 財 務

- 一 國稅徵收令（明治四四、昭令一四）
- 二 朝鮮國稅施設令（昭和一八、昭令九）
- 三 日滿地方稅徵收事務共助令（昭和一八、昭令二八）
- 四 昭和十八年昭令第十號（輸出スル物品ニ對スル內國稅免除ハ交付金ノ停止等ニ關スル件）
- 五 昭和十七年昭令第三十三號（所得稅等ノ日滿ニ重課稅防止ニ關スル件）
- 六 昭和十二年昭令第十七號（大東亞戰爭ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免徵收猶豫等ニ關スル件）
- 七 戰時災害國稅減免令（昭和十七、昭令二二）

- 八 朝鮮地稅令（昭和一八、昭令六）
- 九 朝鮮土地債價價格調査令（昭和一五、昭令三七）
- 一〇 朝鮮所得稅令（昭和九、昭令六）
- 一一 朝鮮臨時利得稅令（昭和一〇、昭令五）
- 一二 朝鮮資本利得稅令（昭和一二、昭令五）
- 一三 朝鮮法人資本稅令（昭和一二、昭令三）
- 一四 朝鮮特別法人稅令（昭和一二、昭令四）
- 一五 朝鮮利益配當稅令（昭和一二、昭令七）
- 一六 朝鮮公債及社債利子稅令（昭和一二、昭令八）
- 一七 朝鮮外債債特別稅令（昭和一二、昭令四）
- 一八 朝鮮北支事件特別稅令（昭和一二、昭令一四）
- 一九 朝鮮事業稅令（昭和一九、昭令二三）
- 二〇 朝鮮登錄稅令（昭和四五、昭令一六）

- 二一 朝鮮植民地令（昭和九、勅令一九）
- 二二 朝鮮建築稅令（昭和一九、勅令一二）
- 二三 酒稅令（大正五、勅令二）
- 二四 朝鮮間接國稅徵收補助、大正八、勅令一一）
- 二五 朝鮮清涼販賣稅令（昭和一九、勅令一四）
- 二六 印紙稅令（大正八、勅令六）
- 二七 朝鮮取引所稅令（大正一〇、勅令六）
- 二八 朝鮮噸稅令（大正九、勅令一八）
- 二九 朝鮮總督府稅關廢物取扱人ニ關スル件（明治四四、勅令二）
- 三〇 朝鮮出港稅令（大正九、勅令二一）
- 三一 明治四十五年勅令第三十一號（關稅法及明治四十四年勅令第一號ニ基ク訴願ニ關スル件）
- 三二 朝鮮骨牌稅令（昭和一九、勅令一六）

- 三四 朝鮮礦物稅令（昭和一九、勅令一五）
- 三五 朝鮮臨時租稅措置令（昭和一九、勅令一三）
- 三六 朝鮮物品稅令（昭和一九、勅令七）
- 三七 朝鮮遊樂飲食稅令（昭和一九、勅令八）
- 三八 朝鮮通行稅令（昭和一九、勅令一七）
- 三九 朝鮮入場稅令（昭和一九、勅令九）
- 四〇 朝鮮空氣瓦斯稅令（昭和一九、勅令一九）
- 四一 朝鮮廣告稅令（昭和一九、勅令一八）
- 四二 朝鮮馬券稅令（昭和一九、勅令二）
- 四三 朝鮮特別行旅稅令（昭和一九、勅令一〇）
- 四四 朝鮮間接國稅犯則者處分令（大正三、勅令二四）
- 四五 大正元年勅令第四號（租稅ニ關シ事犯アリタル者ノ處罰ニ關スル件）



- 四六 朝鮮煙草專賣令（大正一〇、訓令五）
- 四七 朝鮮塩專賣令（昭和一七、訓令二六）
- 四八 朝鮮石油專賣令（昭和一八、訓令二五）
- 四九 紅茶專賣令（大正九、訓令二四）
- 五〇 昭和十一年訓令第三號（朝鮮私設鐵道令ニ依リ交付スル國旗證系ニ關スル件）
- 五一 大正元年訓令第一號（炭酸ニ關スル件）

第九 軍 事

- 一 朝鮮徵發令（大正九、訓令二五）
- 二 朝鮮青年特別練成令（昭和一七、訓令三三）

第一〇 法 務

- 一 朝鮮總督府裁判所令（明治四二、訓令二六）

- 二 朝鮮總督府裁判所令（昭和一九、訓令二）
- 三 大正三年訓令第二十號（地方法院出張所設置ニ關スル件）
- 四 大正八年訓令第十四號（執達手教并規則ニ依ル手教料及立替金増額ニ關スル件）
- 五 朝鮮辯護士令（昭和一一、訓令四）
- 六 昭和十一年訓令第五號（法律事務取扱ノ取銷ニ關スル件）
- 七 朝鮮公證令（大正二、訓令三）
- 八 朝鮮司法書士令（大正一三、訓令五）
- 九 朝鮮民事令（明治四五、訓令七）
- 一〇 朝鮮臨時民事特別令（昭和一九、訓令三）
- 一一 朝鮮會社等臨時措置令（昭和一九、訓令二九）
- 一二 朝鮮訟訴費用等臨時措置令（昭和一九、訓令二三）
- 一三 大正三年訓令第十七號（永代借地權ニ關スル件）
- 一四 朝鮮農地令（昭和九、訓令五）

- 一五 利息制限令（明治四四、明令一三）
- 一六 朝鮮財團抵當令（大正八、明令八）
- 一七 民事訴訟調停ニ関スル件（明治四三、明令一一）
- 一八 朝鮮不動産登記令（明治四五、明令九）
- 一九 大正三年明令第十六號（土地調査令ニ依リ査定スハ裁決ヲ經タル土地ノ登記スハ證明ニ関スル件）

二〇 昭和二年明令第十二號（王公族ヨリ朝鮮ノ家ニ入リタル者及朝鮮ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ニ関スル件）

- 二一 朝鮮寄留令（昭和一七、明令三三）
- 二二 昭和十四年明令第二十號（朝鮮人ノ氏名ニ関スル件）
- 二三 朝鮮貴族世襲財産令（昭和二、明令三）
- 二四 朝鮮刑事令（明治四五、明令一一）
- 二五 朝鮮戰時刑事特別令（昭和一九、明令四）

二六 大正八年明令第七號（政治ニ関スル犯罪英國ノ件）

- 二七 犯罪附決令（明治四三、明令一〇）
- 二八 朝鮮監獄令（明治四五、明令一四）
- 二九 朝鮮少年令（昭和一七、明令六）
- 三〇 朝鮮矯正院令（昭和一七、明令七）

第十一 學 事

- 一 朝鮮學費令（大正九、明令一四）
- 二 朝鮮實務古蹟名跡天然記念物保存令（昭和八、明令六）

第十二 産 業

- 一 朝鮮農會令（大正一五、明令一）
- 二 朝鮮農業倉庫業令（昭和六、明令一四）

- 三 朝鮮肥料取締令(昭和二、勅令一四)
- 四 朝鮮重要肥料取締令(昭和一二、勅令一)
- 五 朝鮮肥料取締令(昭和一二、勅令一八)
- 六 朝鮮肥料取締令(大正八、勅令一〇)
- 七 朝鮮肥料取締令(昭和一二、勅令二四)
- 八 朝鮮肥料取締令(昭和一二、勅令一一)
- 九 朝鮮肥料取締令(昭和一二、勅令四四)
- 一〇 朝鮮肥料取締令(大正七、勅令七)
- 一一 昭和十六年勅令第三十號(朝鮮殖産銀行ノ朝鮮重要産業資金供給ニ関スル件)
- 一二 朝鮮殖産銀行ノ朝鮮重要産業資金供給ニ関スル件(昭和七、勅令四)
- 一三 銀行令(昭和三、勅令六)
- 一四 昭和十八年勅令第四十二號(普通銀行等ノ貯蓄銀行業務スル店就業務ノ兼營ニ関スル件)

一五

- 一五 貯蓄銀行令(昭和三、勅令七)
- 一六 金融組合令(大正三、勅令二二)
- 一七 金融組合令(昭和八、勅令七)
- 一八 朝鮮無盡業令(昭和六、勅令一)
- 一九 朝鮮有價證券取締令(昭和八、勅令四九)
- 二〇 朝鮮商品取締令(昭和八、勅令一)
- 二一 昭和十九年勅令第三三號(軍需會社ノ運營ニ関スル特例等ニ関スル件)
- 二二 大正九年勅令第七號(會社令改正ニ関スル件)
- 二三 朝鮮信託業令(昭和六、勅令八)
- 二四 朝鮮取引所令(昭和六、勅令五)
- 二五 朝鮮證券取引所令(昭和一二、勅令九)
- 二六 朝鮮商工經濟會令(昭和一九、勅令三〇)
- 二七 朝鮮不正競争防止令(昭和九、勅令二四)

- 一八 朝鮮礦業令(大正四 訓令八)
- 一九 朝鮮重要礦物増産令(昭和一二 訓令二〇)
- 二〇 朝鮮マホノイト開發株式會社令(昭和一二 訓令七)
- 二一 朝鮮錫業振興株式會社令(昭和一二 訓令三三)
- 二二 朝鮮産金令(昭和一二 訓令一六)
- 二三 朝鮮石灰製造株式會社令(昭和一八 訓令三八)
- 二四 朝鮮水産會令(大正一二 訓令一)
- 二五 朝鮮漁業令(昭和四 訓令一)
- 二六 朝鮮農事會令(昭和一二 訓令一)
- 二七 朝鮮島嶼令(昭和一二 訓令四)
- 二八 朝鮮國民貯蓄組合令(昭和一二 訓令三)
- 二九 朝鮮産業組合令(大正一五 訓令二)
- 三〇 朝鮮重要物産同業組合令(大正四 訓令三)

- 三一 朝鮮工業組合令(昭和一二 訓令二七)
- 三二 朝鮮酒類業團體令(昭和一二 訓令二二)
- 三三 朝鮮商業組合令(昭和一二 訓令一二)
- 三四 殖産契令(昭和一二 訓令一二)
- 三五 朝鮮木材裁制令(昭和一二 訓令二七)
- 三六 朝鮮重要物資管理令(昭和一二 訓令五四)
- 三七 朝鮮社債登録令(昭和一二 訓令五〇)
- 三八 朝鮮度量衡令(大正一五 訓令六)

第十三 交通 電氣

- 一 朝鮮電信線電報線建設令(大正七 訓令一六)
- 二 朝鮮通船令(昭和一二 訓令一五)
- 三 朝鮮自動車交通事業令(昭和一二 訓令一九)

- 四 朝鮮小運送奉令（昭和一回、訓令一八）
- 五 明治四十五年訓令第二十四號、續道、私設鐵道及軌道ノ整頓ニ關スル件）
- 六 朝鮮私設鐵道令（大正九、訓令八）
- 七 昭和二年訓令第十三號（朝鮮私設鐵道收買ニ關スル件）
- 八 朝鮮船舶令（大正三、訓令七）
- 九 朝鮮海運法令（昭和一回、訓令四三）
- 一〇 朝鮮船舶積載量測定令（大正二、訓令一四）
- 一一 朝鮮船舶安全令（昭和一回、訓令二）
- 一二 朝鮮船舶員令（昭和一回、訓令四）
- 一三 朝鮮船舶員令（昭和一回、訓令二八）
- 一四 朝鮮船舶職員令（大正三、訓令一〇）
- 一五 朝鮮船舶職員令（昭和一回、訓令一五）
- 一六 朝鮮水先令（大正四、訓令五）

一七 大正十二年訓令第六號（朝鮮上内地、臺灣、樺太又ハ南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル件）

- 一八 朝鮮電氣事業令（昭和七、訓令一）
- 一九 朝鮮電氣測定令（大正一二、訓令一〇）
- 二〇 朝鮮電氣管理令（昭和一八、訓令五）

訓令トミテ、地方官有スル現行統監府令及韓國法律類

明治三十九年（光武十年）

一 保安規則（統監府令第一〇號）

二 移民保護法（韓國法律第二號）

明治四十年（光武十一年）

一 新聞紙法（韓國法律第一號）

二 保安法（韓國法律第二號）

- 二 圖書未登記利用法（第四號）
明治四十一年（隆熙二年）
- 一 新聞紙規則（統監府令第一三號）
明治四十二年（隆熙三年）
- 一 出版法（韓國法律第六號）
明治四十三年（隆熙四年）
- 一 出版規則（統監府令第二〇號）
明治四十三年（隆熙四年）
- 以上、合計二二五件

現行律令件名調

昭和一九一三、一九現在

第一 憲法

- 一 明治三十二年律令第二十一号(本島ニ適用セラルル法律ノ改正アリタルトキノ効力ニ関スル件)
- 二 大正九年律令第九号(廳、廳長等ニ関スル件)
- 三 大正十一年律令第六号(民事ニ関スル法律ヲ台湾ニ施行スルニ付改廢ヲ要スル律令ニ関スル件)

第二 官規

- 一 台湾總督府法院判官懲戒令(明治三三、律令一八)

第三 地方制度

- 一 大正九年律令第十号(街庄、街庄社、街庄社長及區、區長等ニ関スル件)

二 台湾州制(昭和一〇、律令一)

三 台湾市制(昭和一〇、律令二)

四 台湾街庄制(昭和一〇、律令三)

五 台湾廳制(昭和一一、律令一六)

六 昭和十二年律令第十九号(從前ノ廳地方遺ニ関スル件)

七 昭和十三年律令第八号(支那官吏ニ際シ召集中ノ有識者等ノ復職ニ関スル件)

八 昭和十八年律令第三号(市街在学校組合及街庄学校組合並ニ児童教育事務ノ委託ニ関スル件)

第四 警察衛生

一 台湾藥品取締規則(明治三三、律令七)

二 台湾保安規則(明治三三、律令三一)

三 通貨及証券模造取締規則(明治三六、律令一四)

- 四 台灣浮浪者取締規則（明治三十九、律令二）
- 五 台灣錢砲火藥類取締規則（大正三、律令二）
- 六 イワシノ防遏規則（大正三、律令五）
- 七 台灣新聞紙令（大正六、律令二）
- 八 台灣阿片令（昭和三、律令三）
- 九 台灣不穩又書幅時取締令（昭和十一、律令二）

第五 社会

- 一 台灣難民救助基金規則（明治三三、律令三）
- 二 大正八年律令第十一号（台灣總督府地方ノ設クル質舖ニ関スル件）
- 三 台灣住宅管理団令（昭和一六、律令八）
- 四 台灣青年特別鍊成令（昭和一九、律令一五）

第六 土地

- 一 台灣下水規則（明治三三、律令六）
- 二 明治三十二年律令第二十五号（海陸ノ埋立及海埔海洲ノ埋立開墾ニ関スル件）
- 三 台灣土地收用規則（明治三四、律令三）
- 四 台灣公有地規則（明治三四、律令六）
- 五 明治三十九年律令第九号（台灣土地收用ノ支那人ノ業主名義トスル場合ノ処分ニ関スル件）
- 六 台灣樟樹造林獎勵規則（明治四〇、律令二）
- 七 埋設埋地規則（明治四一、律令四）
- 八 埋設未定地整理規則（明治四四、律令三）
- 九 台灣土地測量標規則（大正三、律令五）
- 五 台灣森林令（大正八、律令一〇）
- 三 台灣水利組合令（大正一〇、律令一〇）